

## ひよこ組 2月のクラスだより



2021年 2月 10日 (水)



ひよこ組の保育室は南側が全面ガラス張りの窓です。立春もすぎた晴れた日、窓越しの日差しを浴びて子どもたちの姿がキラキラと光に包まれているように見えました。

春は一番に光の春がやって来て、二番目は音の春、三番目は気温（暖かさ）の春が訪れるそうです。（気象予報より）

子どもたちの元気な声や歌にあわせて手を叩いたり、走る足音に動かすにはられないような生き生きとした命の躍動感を感じます。きっと、子どもたちが春を呼んでいるのでしょうね。子どもたちの成長が逆に大人たちを元気づけてくれた一年でした。コロナ禍の中でも出来ることを積極的に楽しく取り組んだり、お家の方々と手つなぎで助け合っていきたいと思います。



☆豆まきの日、たんぼぼ組の鬼さんと福の神さんが遊びに来ました。紙ボールの豆を投げるのはちょっと難しかったのですが、泣かずに手をつないだり、折り紙のお花をたくさんもらいました。

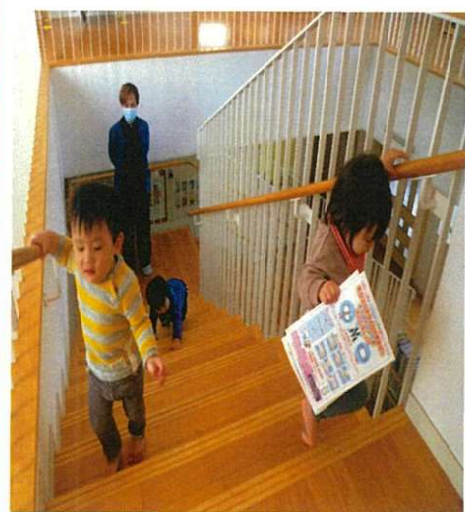


### 階段って、おもしろいよ。ひとりで登りたい！

玄関での送迎です。子どもたちは保育士と一緒に2階のお部屋への階段を上り下りしています。年度の初めは抱っこでしたが、いつの間にか自分で歩いて階段まで来ると、階段の手すりを持ち、「よいしょ、よいしょ」と言いながら上り下りするようになりました。

リュックを背負ったり、バッグも持って、朝はお母さんに「バイバイ」、夕方になると、誰がお迎えかな？と様子を見たりする余裕もできました。

遊戯室や園庭から遊んで帰る時、いちと君やかなめちゃんもハイハイで上ります。あゆむ君も抱っこですが手足をぴよんぴよん動かして登りたそうにしています。子どもたちの力強さやたくましさ自立心の芽生えを感じます。



### ☆お食事タイムの前に。

手を石けんであわあわにしてよく洗います。手を拭いたペーパーはゴミ箱の中へ。このあとはイスに座ってお食事を待ちます。手を合わせたり、頭をちょこんと下げでご挨拶をしてお食事です。

毎日の繰り返しから上手にできるようになりました！

(福岡 今丸 尾崎)





# すみれぐみだより



2020. 2.10

暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いています。この季節、大人は重ね着でひたすら寒さに耐えています、子どもたちは寒さを吹き飛ばす勢いで元気に遊んでいます。

空気が乾燥していて、この季節特有の感染症にも気を付けなければいけません。しっかりと予防対策をして乗り切りたいと思います。



## 「鬼は外 福は内～」

今年は2日に豆まきをされたご家庭も多く、保育園での豆まき当日は、たんぽぽ組のお兄さんやお姉さんが、手作り鬼になって遊びに来てくれました。前日見た鬼と一緒に、、と思ったようで、顔がひきつりはじめ、一步一步後退り。その後は「鬼のパンツ」を歌ってニコニコのすみれ組さんでした。



豆まきの後日、、、

「鬼だぞー！！」とニコニコ顔

鬼になりきるすみれ組の男の子。保育士が「きゃー！！鬼は外ー！！」と言いながら豆を投げるふりをしました。すると、「あー……」と言って倒れてしまいました。かわいいらしい鬼も降参。しばらく、鬼ブームが続きそうなすみれ組です。



## ～すみれぐみの音楽家～

♪ わたしやおんがくか やまの  
こりす じょうずに ばいおりん  
ひいてみましょう～♪

すみれ組音楽家たちの演奏です！！



## ～今月の絵本～

「かお かお かお どんなかお」  
色々な顔の表情が楽しめます！！  
子どもたちもいろんな表情を見せてくれます。



1歳児担任…太田・木山・五島

### ☆お知らせ☆

よく似た衣類が多くなっています。各自記名をお願い致します。





節分が過ぎ、福の神が春を運んで来ました。まだ朝夕は寒さが厳しく吐く息が白いですが日中、窓から陽が差すとポカポカと暖かく、エアコンも床暖もいらないうらいです。陽だまりで子ども達が気持ち良さそうに遊んでいます。「今度、雪が積もったら雪だるまを作ろうね。」と約束したのですが、期待が外れそうです。

## お箸で食べているよ

「先生、これでいい？」給食の時間になると、箸を持った子どもが持ち方を聞いてきます。「それでいいよ」「お箸を持つのが上手になったね」と応えると安心して食べ始めます。

保育士が親指・人差し指・中指の 3 本の指を出して見せながら、フォークやスプーンを三指で持つ練習を始めたのが 10 月頃です。トレーニング箸を使って遊びの中で、柔らかい玉や毛糸を挟む練習をしていきました。箸を使えそうな子どもから、食事を箸で食べ始めると、それを見た子ども達が次々に「箸で食べたい！」と言ってきたので、『興味を持った時に』と思い、すぐ給食の先生に 16 膳の箸を準備して頂きました。「みんなのお箸があるよ。」と渡して持ち方を教えますが、しばらくすると「フォークで食べる。」と持ち替えていました。保育士と繰り返し箸の持ち方や挟み方を練習して、少しずつ箸で食べる時間が長くなっています。最近メニューによって自分で食具を選んで食べています。毎日、練習は続いています。ランチルームで食べることを楽しみに今日も箸を持って頑張っている子ども達です。



## トイレをきれいに使ってくれてありがとう！

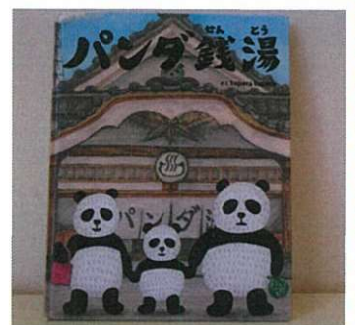
この頃、トイレの掃除をしていて感心することがあります。以前は、尿が飛んで床が汚れていたり、ペーパーが落ちていましたが、この頃便器や床がほとんど汚れていません。そこで、保育士なりに理由を考えてみました。

①自分で尿意を感じてトイレに行けるようになり、おしっこを我慢しなくなったこと。②パンツやズボンを膝まで下げて排泄できるようになったこと。とにかく、子ども達が上手に排泄できるようになったのだと思います。

いつも「気持ち良く排泄して欲しい」との思いから、こまめに拭くように心掛けている保育士の気持ちが通じたのでしょうか。トイレから出てきた子の手を触り、濡れていないと「あっ、ばい菌の臭いがする。」と言うと慌てて手を洗いに行っていた子ども達。いつの間にか「先生、匂ってみて！」と洗った手を差し出します。「しゃぼんの臭いがするね。」と伝えると、嬉しそうに遊びへ戻っていきます。そんな子どもの後姿を見ながら、一步一步 3 歳児クラスへの階段を上っていることを感じ、ちょっぴり寂しさも感じている保育士達です。

## 今月の絵本：「パンダ銭湯」

パンダの親子が銭湯に行くお話です。「読んで！」と子ども達からのリクエストが多い 1 冊です。



ちゅうりっぷぐみ担任  
中西 二木



## ～ お知らせ ～

3・4歳児は異年齢グループで過ごしているため、

2月のクラスだよりはお休みします。



### 1グループ

「じゃんけん列車」や「渦巻きじゃんけん」などじゃんけんを取り入れた簡単なルールのあるあそびをしています。勝ち負けがまだ難しい3歳児には4歳児が「これは勝ちだよ」「負けちゃったね」と優しく伝えている場面も見られます。また、日々の生活のなかでもトイレに行った際は「みんな！こすもすさんを先に行かせてあげよう！」「こすもすさん、先に行っていていいよ」と4歳児が年下のお友だちに譲ってあげ、3歳児も「ありがとう」嬉しそうにお礼を伝えたりとお互いに刺激し合いながら過ごしているようです。



### 2グループ

ひまわり組が、こすもす組のお友だちに「3匹の子ぶた」の絵本を読んでいた。まだ、ひらがなも覚えてたてで、ゆっくりなたどたどしい読み方でしたが、こすもす組の目線の高さに絵本を合わせ、一生懸命読んでいる姿に、年下の友だちのために読んであげたいという気持ちが伝わり、頼もしく思いました。







発行：令和3年2月10日（水）

立春を迎え、子どもたちは温かくなってきた陽差しの変化に気づき、「おひさまが当たるとぼかぼかする」「福の神さんが来てくれたから、春が近づいてきてる！」と少しずつ訪れる春を感じているようです。そんな子どもたちの心や身体の育ちを支えながら、力を蓄えた小さなつぼみが卒園に向けて、豊かな花を咲かせています。

### わたしたちは優しい鬼さん！

カレンダーをみて“もうすぐ豆まきだ”“去年は、鬼が来たよね”と節分を楽しみに話をしていた子どもたち。そこでどんな節分にしたいかなげかけてみると「どんな豆まきがいいかな？」「お面と升がいるよね？」と話し合いが始まりました。「赤ちゃんたちは鬼が怖いからたんぽぽ組が優しい鬼になって豆まきをしよう！」とアイデアが出たものの、どうしたら未満児のお友だちが楽しく豆まきに参加できるのか、初めはなかなか良いアイデアが浮かばず子どもたちも“赤ちゃんたちが楽しい豆まきってどうしたらいいのかな…”と悩んでいましたが、少しずつ子どもたちの想いもふくらんでいき、「小さいお友だちは豆投げるのは危ないから、新聞紙で豆をつくる？」と年下の友だちを気遣い、どうしたら鬼を怖がらずに、豆まきに参加できるだろうかと想いを出し合いました。そして「赤ちゃんたちが楽しいようにどんな遊びが好きか聞いてみよう！」と0～2歳のクラスに行き好きな遊びを確かめに行くと「ひよこさんは追いかけてこが好きだって」「すみれさんは電車ごっこが好きって言ってたよ」「ちゅうりっぷさんはボール投げしてるって」と再び子どもたちの話し合いが始まりました。そこから、ひよこ組では空気を入れたポリ袋に画用紙で作った鬼を貼った手作りの風船を腰に結び、追いかけてこを計画し、すみれぐみではダンボールで作った2両編成の鬼の電車を作り豆入れ遊び、ちゅうりっぷ組では豆投げが出来るようにとダンボールで大きな鬼的的当てを作り、それぞれのクラスが好きな遊びの中に豆まきを取り入れることにしました。

子どもたちの節分への思いはどんどん膨らんでいき、豆まきの玩具作りが始まると“こっちはこうした方がいい”“これはもっとうしよう”と友だちと一緒に創る喜び、楽しさに生き生きとした表情で取り組んでいました。友だちと一緒に表現することを楽しむ中で、想いがぶつかり上手くいかない時もありましたが、一人ひとりの感性と表現が異なることに気づき、お互いに受け入れていく姿もありました。

節分の当日は、「赤ちゃんたち泣かないかな」「作った玩具で遊んでくれるかな」「あぁ～どきどきしてきた」と緊張と不安に硬い表情でしたが、たんぽぽぐみの優しい鬼たちは友だちと協力し創りあげ、やり遂げたことが達成感や安堵感となり「はぁー。上手くいったね！」「みんな喜んでくれとった！」「これでみんな元気に過ごせるね！」と春の訪れを感じさせるぱっと花の咲いたような表情で話しをしていました。



豆まきの後、福の神さんが  
ふたば保育園に春を  
届けてくれました☆

5歳児担任：田中・桑原